

いつも、人から。そして、心から。

## 国際観光学科の池永教授『観光地理学—観光地域の形成と課題—』を共著で出版自然観光地域として「九十九島」にも触れる

平成22年5月30日に長崎国際大学人間社会学部国際観光学科の池永正人教授は、4人の専門家と共著で『観光地理学—観光地域の形成と課題—』を出版いたしました。

本書は、観光地理学の第一人者で池永教授の恩師でもある山村順次教授を編者とし、観光地理学の各分野を統一的に学ぶことができるように、基本的に大学生等を対象としたテキストとして執筆されたものです。

一方、「第3章 自然観光地域」の中で「西海国立公園の島嶼景観」として、九十九島について記述があるなど地元の人にとって興味深い内容です。また、熊本県黒川温泉、大分県宇佐市安心院などの九州各地や、東京、小樽、箱根温泉、北アルプス、倉敷などの国内の観光地、スイス、パリ、北京、バリ島、北京など海外の観光地としても馴染み深い地域について、観光地理学の視点から、地域の自然・歴史・文化・生活などの諸特性を、多くの事例や地図・写真とともに総合的に解説されており、一般の方でも分かりやすく読むことができますようになっています。



### 1. 本書の概要

本書の構成は以下の通りです。このうち第3章を池永教授が執筆しています。

#### 第1章 観光地域と観光地理学

- 1 観光と観光地域
- 2 観光地域のあり方と観光地理学の課題

#### 第2章 温泉観光地域

- 1 温泉観光地域の形成・現状と課題
- 2 日本の温泉観光地域（箱根温泉郷、城崎温泉）
- 3 外国の温泉観光地域（チェコ、ニュージーランド）

#### 第3章 自然観光地域

- 1 自然観光地域の形成・現状と課題
- 2 日本の自然観光地域（北アルプス上高地、九十九島）
- 3 外国の自然観光地域（スイス・アルプス、ハワイ）

#### 第4章 農山村観光地域

- 1 農山村観光地域の形成・現状と課題
- 2 日本の農山村観光地域（山形県飯豊町、大分県宇佐市安心院）
- 3 外国の農山村観光地域（オーストリア・チロル、インドネシア・バリ島）

#### 第5章 歴史文化観光地域

- 1 歴史文化観光地域の形成・現状と課題
- 2 日本の歴史文化観光地域（千葉県香取市佐原、岡山県倉敷市）
- 3 外国の歴史文化観光地域（ドイツ・ハイデルベルク、中国・成都）

#### 第6章 都市観光地域

- 1 都市観光地域の形成・現状と課題
- 2 日本の都市観光地域（東京、小樽）
- 3 外国の都市観光地域（パリ、北京）

## 2. 本書の販売

本書は市販されており、一般書店でご注文いただけます。

【書名】観光地理学—観光地域の形成と課題—

【出版】同文館出版

【編著者】山村順次

【定価】1,995 円（本体 1,900 円＋税）

【ISBN】978-4-495-37951-3

## 3. 著者コメント(池永教授による本書「あとがき」より抜粋)

「観光地域の持続可能な発展のためには、住民の生活環境を脅かすことのない観光行政と、自然環境に適応した観光事業の堅実な推進が基本です。観光地域の社会構造を明らかにするためには、住民や行政がどのような形で観光地づくりに関与しているか、また訪れる人々の目的並びに滞在中の行動はいかなるものか、さらには観光施設や宿泊施設の整備と経営の実態、観光地の景観や環境保全についての詳細な研究が必要です。ここに観光地理学を学ぶ意義を見出すことができるのです。」

## 4. 著者紹介

池永正人(いけなが まさひと)

- ◆平成12年4月の長崎国際大学開学時に、人間社会学部 国際観光学科 助教授として着任。平成18年4月より現職。
- ◆千葉大学大学院 自然科学研究科 人間・地球環境科学専攻 博士(学術)
- ◆専門は観光地理学、特にヨーロッパアルプスや九州の山岳観光地の研究。
- ◆九州風景街道推進会議委員、ながさきサンセット・オーシャンロード推進協議会委員、長崎県地域限定通訳案内士関係の委員などを務める。



### その他の編者・著者

- 山村 順次 教授(城西国際大学観光学部、千葉大学名誉教授) 理学博士 編者、第1章、第2章
- 中山 昭則 教授(別府大学国際経営学部) 博士(学術) 第4章
- 小堀 貴亮 専任講師(大阪観光大学観光学部) 博士(学術) 第5章
- 浦 達雄 教授(大阪観光大学観光学部) 博士(学術) 第6章

長崎国際大学は平成22年に10周年を迎えました。  
人間尊重を理念に、文化と健康を大切にする社会の実現に  
引き続き貢献して参ります。

【この件に関するお問い合わせ】

長崎国際大学 教育改革推進室(担当:松永・安部)

TEL: 0956-39-2020 ✉: [kaikaku@niu.ac.jp](mailto:kaikaku@niu.ac.jp)